

第2章 うれしい!たのしい!子育て開始

1 赤ちゃんがうまれた!

出産後に市役所で行う主な手続き

出生届の提出

生まれた日を含めて14日以内に名前を決めて出生届を出してください。

必要なもの 出生証明書、母子健康手帳

届出場所 市役所(戸籍住民異動室) ☎724-6724 FAX 724-0853
豊川支所 ☎729-4058 FAX 730-2196
止々呂美支所 ☎739-0355 FAX 732-2195

ごみ袋の乳幼児加算配布

出生届を出された時に指定燃えるごみ袋(30%)を配布します。届けを時間外や他の市町村で出された場合は環境クリーンセンター(☎729-2371)までお問い合わせください。

妊婦支援給付金(2回目)

問 子どもすこやか課 ☎724-6768 FAX 721-9907

子ども(胎児)の数の届出後に、
子どもの人数×5万円を支給します。
(胎児心拍確認後の流産・死産も対象)
*詳しくは、箕面市ホームページをご確認ください。



出生連絡票の提出

問 子どもすこやか課 ☎724-6768 FAX 721-9907

母子健康手帳別冊に添付されている「出生連絡票」を出生届時に提出しましょう。「出生連絡票」は、市ホームページからも取得できます。子どもすこやか課あてに郵送または電話で連絡することもできます。

郵送先 〒562-0003 西小路4-6-1
子ども未来部 子どもすこやか課あて

子どもの医療費助成の申請

問 介護医療課 ☎724-6733 FAX 724-6040

高校卒業年齢(※)までの子どもが病気やけがで、保険診療を受けるときの医療費を助成します。詳細はP23をご覧ください。
(※)高校卒業年齢とは18歳の3月31日まで(4月1日生まれのかたは17歳の3月31日まで)

必要なもの 健康保険の情報がわかるもの(A~Cのうちいずれか1つ)
A. 資格情報のお知らせ(資格取得年月日及び被保険者氏名の記載があるもの)
B. 資格確認書
C. マイナポータル画面を表示できる機器(スマートフォン)とマイナンバーカード

申請場所 市役所(介護医療課)、豊川支所、止々呂美支所
*オンライン申請・郵送申請もできます。
詳しくは、市ホームページをご覧ください。

郵送先 〒562-0003 箕面市西小路4-6-1
箕面市役所 市民部 介護医療課あて

児童手当の申請

問 子ども総合窓口 ☎724-6791

0歳~高校生年代(高校生年代:18歳到達後の最初の年度末まで)までの子どもを育てているかたが受給できます。

必要なもの 来庁者の本人確認書類(顔写真付きのもの)、申請者名義の銀行口座、父母のマイナンバーがわかるもの

申請場所 市役所(子ども総合窓口)、豊川支所、止々呂美支所

見守りおむつ定期便

問 子どもすこやか課 ☎724-6768 FAX 721-9907

出生時の申請により、生後3か月から1歳の誕生月まで、毎月1回、子育て用品2点の宅配と見守りを行います。

申請方法 オンライン申請など。出生届出時にご案内します。

費用 無料

委託先 生活協同組合コープこうべ

2 ママと赤ちゃんの安心のために

問 子どもすこやか課 ☎724-6768 FAX 721-9907

産婦健康診査を受けましょう

出産後2週間前後、出産後1か月前後に各1回、上限5,000円までを助成します。母子健康手帳別冊に綴られている「箕面市産婦健康診査受診券」により、大阪府内の産婦人科、助産所で受診できます。

新生児聴覚検査を受けましょう

原則生後1か月未満の赤ちゃんが受けた聴覚検査の費用を一部助成します。

●自動ABR検査(自動聴性脳幹反応検査)上限5,000円

●OAE検査(耳音響放射検査)上限1,500円

母子健康手帳別冊に綴られている「箕面市新生児聴覚検査受検票」により、大阪府内の医療機関、助産所等で受診できます。

里帰りなど、府外で受診する場合

申請により、産婦健診または新生児聴覚検査費用の一部が返還されますので、受診日から1年以内に申請してください。

申請場所 市役所別館2階 子どもすこやか課

持ち物 受診医療機関の領収書及び明細書、母子健康手帳、振込先銀行口座(産婦の場合は産婦本人名義の銀行口座)がわかるもの、医療機関記入欄記入済の未使用の産婦健康診査受診券または新生児聴覚検査受検票
郵送での手続きも可能です。(詳しくは、子どもすこやか課までお問い合わせください)



助産師・保健師・保育士が訪問します

生後4か月までの赤ちゃんがいるご家庭に、新生児・産婦訪問、低出生体重児訪問または、乳児家庭全戸訪問(こんにちは赤ちゃん訪問)をします。

新生児・産婦訪問

おおむね3か月頃までの赤ちゃんの健康や母乳のことなどについて、助産師や保健師が家庭訪問し、相談をお受けします。

費用 無料

低出生体重児訪問

出生体重が2,500g未満の低出生体重児を、助産師や保健師が訪問します。

費用 無料

乳児家庭全戸訪問(こんにちは赤ちゃん訪問)

生後4か月を迎えるまでの赤ちゃんがいるご家庭を保育士が訪問します。子育ての様子をお聞きし、子育てに役立つ情報をお届けするとともにご相談をお受けします。訪問の時期は事前に郵送でお知らせします。(新生児・産婦訪問等で市の保健師や助産師の訪問をうけられたご家庭へは乳児家庭全戸訪問はありません)

費用 無料

産後ケア事業

問 子どもすこやか課 ☎724-6768 FAX721-9907

出産後のママが心身ともにリフレッシュできるように、医療機関やご自宅で助産師等がサポートします。

対象 出産後1歳未満のママと赤ちゃん

内容 ママの休養や体調管理、授乳相談、赤ちゃんの発育・発達チェック、沐浴やスキンケアの方法、ママ同士の交流等

種類・費用 ※利用回数には上限があります。

事業の種類	利用料
宿泊型	3,000円
日帰り型(10時～17時)	2,000円
訪問型(最大3時間まで)	1,500円
集団型(約2時間)	無料

※市民税非課税・生活保護世帯は無料

2か月児育児相談会(わらびーパーク)

問 子どもすこやか課 ☎724-6768 FAX721-9907

育児や母乳についての相談をお受けします。参加者同士の交流もできます。(予約制・箕面市ホームページ申込フォームより)

対象 2か月児(第1子)とその母親

場所 総合保健福祉センター

日時 原則毎月第3月曜日 10:00～11:30

費用 無料

(詳しくは、毎月の広報紙もみじだよりをご覧ください)



3 子どもの健康管理のために

乳幼児の健康診査を受けましょう

問 子どもすこやか課 ☎724-6768 FAX721-9907

乳幼児健康診査一覧

健診名	実施方法	内容	通知方法
乳児一般(1か月児)健康診査	個別	対象は生後28日～生後6週未満 対象月齢内に1回無料で受診 問診、身体計測、診察など	母子健康手帳別冊に 「乳児一般(1か月児)健康診査受診票」あり
4か月児健康診査	集団	問診、身体計測、診察、育児相談など	個別通知(該当前月15日頃)
乳児後期健康診査	個別	対象は9か月～満1歳になるまで 対象月齢内に1回無料で受診 問診、身体計測、診察など	4か月児健康診査時に受診票配布 4か月児健康診査未受診のかたへは 受診票を郵送
1歳6か月児健康診査	集団	問診、身体計測、診察、歯科健診、栄養相談、育児相談など	個別通知(該当前月15日頃)
3歳6か月児健康診査	集団	問診、身体計測、診察、歯科健診、 栄養相談、検尿、屈折検査、視覚・聴覚アンケートなど	個別通知(該当前月15日頃)

離乳食教室に参加しましょう

問 食育推進課 ☎724-6159 **FAX** 722-2466

食育推進課では、月齢に合わせて離乳食の教室を行っています。各教室の案内は広報紙もみじだよりに掲載されます。

場 所 中央生涯学習センター：離乳食教室、はじめての離乳食クッキング教室、かみかみ期の離乳食クッキング教室
総合保健福祉センター：ぱくぱく離乳食教室

費 用 無料

食育教室一覧

教室名	対象	内容	申込	費用
離乳食教室	5～9か月児の保護者(定員20名)	栄養士が離乳食の進め方についてわかりやすくお話しします。あらかじめ用意した離乳食を試食し、味や舌ざわりを体験できます。	必要※	無料
ぱくぱく離乳食教室	9～18か月児の保護者(定員20名)	しっかり食べてほしい離乳食後期のポイントを栄養士がお話しします。	必要※	無料
はじめての離乳食クッキング教室	5～9か月児の保護者(定員10名)	調理実習を行います。実際に離乳食を作って味や舌ざわりを体験してください。	必要※	無料
かみかみ期の離乳食クッキング教室	9～12か月児の保護者(定員10名)	調理実習を行います。離乳食のレパートリーを広げましょう。	必要※	無料

※2か月前から受付開始

家庭で作れる簡単レシピ

どの献立も1歳頃から食べられます。

ぎせい豆腐

材料

- ・木綿豆腐 200g(2/3丁くらい)
- ・鶏ミンチ 80g
- ・にんじん 1/4本
- ・干しいたけ(大) 1枚
- ・グリーンピース 少々
- ・片栗粉 小さじ2
- ・しょうゆ 小さじ1.5
- ・サラダ油 大さじ1

作り方

- ①木綿豆腐はキッチンペーパーに包んでラップをせずに電子レンジ(600W)で2分加熱して、つぶす。
- ②にんじんはみじん切り、干しいたけはもどしてみじん切りにする。
- ③鶏ミンチ・グリーンピースと①②、しょうゆ・片栗粉を加えてよく混ぜ合わせる。
- ④フライパンに油をひき③を流し込み、厚みを均一にととのえ、ふたをして弱火で焼く。片面が焼けたら、裏返して火が通るまで焼く。
- ⑤冷めてから切り分ける。

じゃがいもときゅうりのごま和え

材料

- ・じゃがいも 大1個
- ・きゅうり 1本
- ※(すりごま:大さじ1/2 さとう・しょうゆ:各小さじ1/2)

作り方

- ①じゃがいも1個は、厚めのいちょう切りにして茹でて、粉ふきいもにする。
- ②きゅうりは、薄切りにして軽く塩をあて、しばらく置いて、さっと水洗いし、もう一度しっかり絞る。
- ③※を合わせて、①②と和える。

①の粉ふきいもはつぶし、きゅうりも皮をむいてすりおろして和えれば、7～8か月頃から食べられます。その頃は、ごまは加えず調味料もごく少量にしましょう。

かるかん

小麦アレルギーでも食べられます。

材料

- ※(上新粉:100g じゅうそう:大さじ1/2 さとう:大さじ4)
- ・長芋 皮をむいて80g
- ・水 大さじ4
- ・アルミカップ 5個くらい

作り方

- ①※をビニール袋に入れてよく混ぜる。
- ②長芋をおろし、水を加えてよく混ぜる。(ミキサーにかけてもよい)
- ③②に①を入れて混ぜ、アルミカップに入れて、蒸気のたった蒸し器で15分程度蒸す。



予防接種を受けましょう

問 子どもすこやか課 ☎724-6768 FAX 721-9907

赤ちゃんの病気に対する抵抗力(免疫)は、その成長とともに自然に失われるため、赤ちゃん自身で免疫をつくって病気を予防する必要があります。これに役立つのが予防接種です。子どもの発育とともに外出の機会が多くなります。

保育所(園)や幼稚園、認定こども園に入るまでには予防接種で免疫をつけ、感染症にかからないように予防しましょう。

「予防接種手帳」について

出生届出時に予防接種手帳(予診票綴)、「予防接種と子どもの健康」冊子等をお渡しします。

転入されたかた

転入から1か月以内を目安に「予防接種予診票の交付手続きについて」のはがきを送付します。はがきに記載のQRコードから予診票の交付手続きが可能です。お急ぎの場合、子どもすこやか課までお問い合わせください。

定期予防接種を受ける時期

個別接種 接種場所については広報紙もみじだより4月号と同配する「けんしんガイドブック」でもご確認いただけます。

種別	接種推奨年齢	回数	法定接種年齢	場所	
BCG	標準として生後5~8か月未満の間に接種	1回	生後1歳未満	接種医療機関  (市ホームページ)	
どちらか一方を接種	ロタウイルス感染症(ロタリックス)	生後2か月~出生24週0日 (初回は出生14週6日まで)	2回 (1回目から2回目は、27日以上の間隔をあけて接種)		出生6週0日~ 出生24週0日
	ロタウイルス感染症(ロタテック)	生後2か月~出生32週0日 (初回は出生14週6日まで)	3回 (27日以上の間隔で3回接種)		出生6週0日~ 出生32週0日
B型肝炎	1回目 生後2か月	27日以上の間隔で2回接種した後、 1回目から139日以上の間隔をあけて 3回目を接種	生後1歳未満		
	2回目 生後3か月				
	3回目 生後7~8か月				
小児用肺炎球菌	標準として 生後2~7か月未満の間に接種開始		初回 それぞれ27日以上の間隔で3回		生後2か月~5歳未満
	接種開始が 生後7か月以上 5歳未満の場合	生後7か月以上1歳未満	1回目 → 2回目 [※] → 3回目(追加) 27日以上 60日以上 (1歳以降で) <small>※生後2歳になるまでに接種</small>		
		1歳以上2歳未満	1回目 → 2回目 60日以上		
		2歳以上5歳未満	1回で終了		
五種混合 (百日せき・ジフテリア・ 破傷風・ポリオ・ヒブ)	1期 初回 標準として 生後2~7か月未満の間に接種	20~56日までの間隔で3回	生後2か月~ 7歳6か月未満		
	1期 追加 標準として1期初回(3回) 終了後6~18か月の間に接種	1回			
二種混合	標準として小学6年生の時に接種	1回	11歳~13歳未満		
水痘	1回目 標準として生後12~15か月 未満の間に接種	2回	生後1歳~3歳未満		
	2回目 標準として1回目終了後 6~12か月の間に接種				
麻しん・風しん混合 (MR)	1期 生後1歳~2歳未満	1回	生後1歳~2歳未満		
	2期 小学校入学前の1年間 (接種期間4/1~3/31)	1回	小学校入学前年度の 1年間		
日本脳炎	1期 初回 標準として3歳の時に接種	6~28日までの間隔で2回	生後6か月~ 7歳6か月未満		
	1期 追加 標準として4歳の時に接種	1期初回終了後6か月以上、おおむね1年後に1回			
	2期 標準として小学4年生の時に接種	1回	9歳~13歳未満		
子宮頸がん (女子のみ)	1回目 標準として中学1年生の4月~9月	2回	小学6年生~ 高校1年生相当年齢		
	2回目 標準として1回目から6か月後に接種	※ただし、15歳になってから1回目を 接種する場合、3回の接種が必要			

うれしい! たのしい! 子育て開始

予防接種を受ける前の一般的注意事項

- 母子健康手帳は必ず持って行きましょう。
- 当日は、朝から子どもの状態をよく観察し、普段と変わった様子がないことを確認しましょう。予防接種を受ける予定にしているでも、体調が悪いと思ったら医師に相談のうえ、接種するかどうか判断しましょう。
- 受ける予定の予防接種について、「予防接種と子どもの健康」をよく読んで、必要性や副反応についてよく理解しましょう。わからないことは医療機関で接種を受ける前に医師に質問しましょう。
- 予診票は子どもを診て接種する医師への大切な情報です。責任を持って記入するようにしましょう。
- 予防接種を受ける子どもの日ごろの健康状態をよく知っている保護者のかたが連れて行きましょう。

予防接種を受けた後の一般的注意事項

- 予防接種を受けた後30分間程度は、医療機関で子どもの様子を観察するか、医師とすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。急な副反応はこの間に起こることがまれにあります。
- 接種後、生ワクチン(BCG、ロタ、麻しん・風しん(MR)、水痘)では4週間、不活化ワクチン(五種混合、日本脳炎、小児用肺炎球菌、二種混合、B型肝炎、子宮頸がん予防ワクチン)では1週間は副反応の出現に注意しましょう。
- 接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、注射した部位をこすることはやめましょう。
- 接種当日の激しい運動はさけましょう。
- 接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けましょう。

小児用インフルエンザ予防接種について

- 生後6か月から小学校6年生までを対象に、一人あたり2,000円分のインフルエンザ予防接種費用の助成を行っています。詳細については、9月末頃、対象者のかたに個別通知します。

歯の健康について

問 予防歯科センター ☎727-9556 **FAX**727-3532
歯の健康は予防が一番大切です。そのためにも、乳幼児期からの定期的な検診がおすすめです。

歯の検診

日 時	原則月4回14:30～(詳しくは奇数月のみみじだより、予防歯科センターのホームページをご覧ください)
場 所	予防歯科センター(総合保健福祉センター3階)
対 象	満1歳～15歳
内 容	検診、むし歯予測試験、フッ素塗布、歯みがき指導など
費 用	検診 1,000円 フッ素塗布 1,000円

歯じめて教室

日 時	毎月1回原則第4月曜日14:00～ (詳しくは奇数月のみみじだよりをご覧ください)
場 所	総合保健福祉センター2階 大会議室
対 象	満1歳～2歳半までの子と保護者
内 容	乳幼児期の歯に関する話 検診、むし歯予測試験
費 用	検診 1,000円(希望者のみ)

※いずれも詳細は「予防歯科センター」までお問い合わせください。



4 知っておきたい救急対応

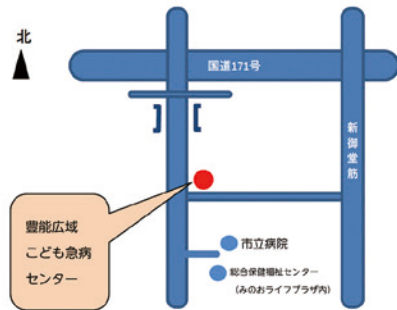
急病!どこに行けばいいの?

豊能広域こども急病センター

- ・診察は小児科のみです。(中学生以下)
- ・ケガ、骨折、やけど、異物の誤飲等は市立病院(救急外来)へご相談ください。

住 所 萱野5-1-14
☎729-1981

診療時間	受付	診療
平日	19:00～翌7:00	18:30～翌6:30
土曜日	15:00～翌7:00	14:30～翌6:30
日・祝休日	9:00～翌7:00	8:30～翌6:30



※混雑状況の確認

豊能広域こども急病センターの
診療待ち状況が確認できます。
右記のQRコードをご利用ください。



箕面市立病院(救急外来)

住 所 萱野5-7-1
☎728-2001 ※必ず事前に電話してください。

受 付 24時間

- ・休日や夜間の救急診療は限られた体制でおこなっていますので、重症のかたを優先して診療させていただきます。軽症のかたは、長時間お待ちいただいたり、診療ができない場合もあります。
- ・中学生以下の急病患者は、豊能広域こども急病センターで受診してください。
ただし、ケガ、骨折、やけど、異物の誤飲等については市立病院にご相談ください。

眼科耳鼻咽喉科の休日診療

中央急病診療所

住 所 大阪市西区新町4-10-13
☎06-6534-0321

診療時間 平日 22:00～翌0:30
土曜日 15:00～21:30
日・祝・年末年始 10:00～21:30

歯科の休日診療

箕面市立病院

住 所 萱野5-7-1 ☎728-2001

診療時間 日・祝・年末年始(12月29日～1月3日)
10:00～17:00(受付は9:30～16:30)

困ったときの救急相談

救急安心センターおおさか

突然の病気やけがで、救急車を呼んだ方がいいか迷った時の相談。緊急時には消防署へ電話を転送し、救急車の要請もできます。

#7119(プッシュ回線・携帯電話)
☎06-6582-7119(ダイヤル回線)

時 間 24時間365日受付

小児救急電話相談

夜中に病院に行った方がよいか迷った時の相談ができます。

#8000(プッシュ回線・携帯電話)
☎06-6765-3650(ダイヤル回線)

時 間 19:00～翌8:00

小児救急支援アプリ

突然の病気やけがの「緊急性」を判断し、症状に応じた近くの医療機関(大阪府内)を地図に表示するスマートフォン専用アプリです。

「小児救急支援」で検索してダウンロードしてください。

中毒110番

医薬品、洗剤などを誤って飲んだ ☎727-2499
たばこ専用(テープによる情報提供) ☎726-9922

こどもの救急 (ONLINE-QQ)

夜間や休日などの診療時間外に病院を受診するかどうか、判断の目安を提供しています。

対象年齢 生後1か月～6歳

ホームページ <http://kodomo-qq.jp>



おおさか精神科救急ダイヤル

☎0570-01-5000

精神疾患を有するかたやそのご家族などから、かかりつけの医療機関が診療を行っていない夜間・休日は、こころの病気の緊急時に、必要に応じて精神科救急医療機関の利用について電話でご案内します。

相談日時 平日17:00～翌9:00

(土・日・祝日・年末年始:朝9:00～翌朝9:00)



5 一人で悩まないで!

不安なときや困ったときの相談機関

子育ては新しい発見があったり、楽しいこと、嬉しいこともいっぱい。

でも・・・毎日の子どもとの生活の中では不安なことや、心配なこと、これって我が子だけ?と悩んでしまうこともたくさんあります。

そんな時はすぐに相談してみましょう。きっと、ママ友や先輩ママが共感してくれたり疑問に答えてくれます。

専門的なことであれば、いろいろな相談機関を利用しましょう。

主な相談内容	機関名	相談日時	電話	住所
子育て相談 (子どもへの接し方、あそび、その他子育てに関すること) 子育てに関する情報の提供 (子育てサークル・子育てサロンなど)	子育て支援センター 相談専用電話	月曜日～金曜日 10:00～16:00	☎ 721-8845 FAX 723-5433	萱野1-19-4 らいとぴあ21 2階
妊娠・出産に関する相談 子どもの健康・予防接種に関する相談 子どもの発育・発達に関する相談	子どもすこやか課	月曜日～金曜日 9:00～17:00	☎ 724-6768 FAX 721-9907	西小路4-6-1 市役所別館2階
子どもの栄養・離乳食などに関する相談	食育推進課	月曜日～金曜日 9:00～17:00	☎ 724-6159 FAX 722-2466	西小路4-6-1 市役所別館4階
子どもの気になる行動 (育てにくい、集団が苦手など) 発達に関する相談 (ことばがゆっくり、歩くのが遅いなど)	発達相談「ゆう」	月曜日～金曜日 9:00～17:00	☎ 727-9522 発達相談専用	船場西3-8-22 市役所第二別館
保育園入園に関する相談・問い合わせ 幼稚園入園に関する相談・問い合わせ 一時保育の問い合わせ・紹介	子ども総合窓口	月曜日～金曜日 第2・4土曜日 9:00～17:00	☎ 724-6791 FAX 721-9907	西小路4-6-1 市役所別館2階
ひとり親家庭の生活などに関する相談	子育て支援課	月曜日～金曜日 9:00～17:00	☎ 724-6738 FAX 721-9907	
子どもの家庭養育に関する相談 虐待に関する相談・通告	子ども相談課	月曜日～金曜日 9:00～17:00	☎ 724-6233 FAX 721-9907	西小路4-6-1 市役所別館2階
育児相談・子育て相談・ 幼児教育に関する相談	最寄りの公立保育所・ 公立認定こども園	月曜日～金曜日 9:00～17:00		P33参照
	最寄りの公立幼稚園	月曜日～金曜日 10:00～16:00		P34参照
小児慢性特定疾病に関する相談	大阪府池田保健所	月曜日～金曜日 9:00～17:00	☎ 751-2990	池田市満寿美町3-19
女性カウンセラーによる 女性のための面接相談(要予約)	人権政策課 (男女協働参画ルーム)	火曜日・金曜日 13:00～16:00	予約電話 ☎ 724-6943	稲1-14-5 市役所第三別館2階
女性の相談員による電話相談	人権政策課 (男女協働参画ルーム)	月曜日・水曜日 13:00～16:00	相談専用電話 ☎ 723-3654	
人権・就労・進路・奨学金・総合生活相談	らいとぴあ21	火曜日～日曜日 (祝日も相談) 9:00～17:00	☎ 722-7400 FAX 724-9698	萱野1-19-4

うれしい! たのしい! 子育て開始

子どもの発達に関する専門相談

子どもの発達など育児上で気になること(運動・あそび・ことばなど)や、療育に関する相談を受けています。面談を希望される場合は電話で相談日時を予約してください。詳細はP36へ。

民生委員・児童委員について

☎ 地域福祉課 ☎ 727-9513 FAX 727-3539

地域における相談・支援のボランティア

お住まいの地域の民生委員・児童委員をお知りになりたい場合は、地域福祉課までお問い合わせください。

6 体罰等によらない子育てを!

令和2年4月、保護者から子どもへの体罰が法律で禁止されました。これは、社会全体で体罰などによらない子育てを支えていくとともに、保護者が子育てに悩んだ時に適切な支援につながることを目的としたものです。

しつけとは、子どもの人格や才能などを伸ばし社会性を育む行為ですが、子どもが言うことを聞かないので頬を叩くなど、子どもの身体に何らかの苦痛や不快感を意図的にもたらす行為は体罰です。体罰が繰り返されると、子どもの心身の成長・発達にさまざまな悪影響が生じることが科学的にも明らかになっています。

子どもへの具体的な関わりかたについて知りたい、子育てに悩んでいるなどの場合は、ぜひご相談ください。一緒に考えましょう。

こんなことに困っていたら

- 子どもが泣き止んでくれず、どうしたらいいかわからない
- 言うことをきかない子どもに、ついカッとなって手をあげてしまう
- 一生懸命作った食事を食べてくれず、腹がたつ
- 子どもをかわいいと思えない
- 子どもの行動が遅くてイライラする
- だれも頼れる人がいない

一人で抱え込まないで相談しましょう

子ども相談課 ☎724-6233

★その他P12の相談機関にご連絡ください



子どものSOSサインに1つでも気づいたら 迷わずにお電話を!

問 子ども相談課 ☎724-6233

児童虐待とは?

子どもを守るべき保護者が子どもの身体や心を傷つけることをいいます。虐待されている子どもや、虐待が疑われる子どもを発見した場合は連絡してください。連絡されたかたの秘密は守られます。

- ◆身体的虐待 殴る、蹴る、首を絞める、やけどをさせるなどの暴力
- ◆ネグレクト 適切な衣食住の世話をしない、子どもだけで放置する、同居人からの虐待を放置するなど
- ◆心理的虐待 言葉によるおどかしや脅迫、無視や拒否など、子どもの心を傷つけること
- ◆性的虐待 子どもにわいせつな行為をすること、またはさせることなど

子どものSOSサイン

- 殴られたようなあざ、たばこを押し付けられたようなやけど跡など、不自然な外傷がある
- 汚れた衣服を繰り返し身に付けている。季節にそぐわない服を着ている
- 髪がベタベタしていたり、体のおいが気になるなど、お風呂に入っていないようすがうかがえる
- 小学生までの子どもが夜遅くまで遊んでいた、家に帰りがたらない
- いつも親の顔をうかがっており、親に対しておびえている
- 小学生までの子どもが性行為のまねごとをする
- 悲鳴のような突然の泣き声や、激しい泣き声が聞こえる。一晩中泣き続けている
- 大人が子どもを怒鳴っている声やののしる声、物を壊したり叩きつける音などと一緒に、泣き声が聞こえる
- 家の外に閉め出されている(幼い子どもの閉め出し、長時間の閉め出し、真夏や真冬の閉め出しなど)
- 子どもだけを残して、保護者が夜間に外出している
- 保護者同士が大声で怒鳴り合うような激しいけんかをしている

通告先はこちら

子ども相談課

☎724-6233 (平日9:00~17:00)

大阪府箕面子ども家庭センター

☎739-6170 (平日9:00~17:45)

夜間・休日虐待通告専用電話

☎072-295-8737

(平日17:45~翌9:00、土・日・祝日・年末年始)

児童相談所虐待対応ダイヤル

☎189(24時間365日受付)

警察 110番(24時間)

授乳 おむつ
替え

赤ちゃんの駅



7 赤ちゃんの駅をご利用ください!

「赤ちゃんの駅」とは、授乳とおむつ替えができるスペースの愛称です。「赤ちゃんの駅」がある施設には看板が表示されています。赤ちゃんを連れての外出の際にはどうぞご利用ください。

「赤ちゃんの駅マップ」を配布しています

問 子育て支援センター ☎FAX 723-5433

赤ちゃんの駅マップは、市内約91か所の「赤ちゃんの駅」を表示したポケットサイズのマップです。市内の公共施設、市立保育所、幼稚園で配布しています。

※市内の赤ちゃんの駅の場所についてはP15～18をご覧ください。

0歳～3歳に育む基本的信頼感

0歳～3歳という、人として生きる一番はじめのこの時期。何よりも大切にしたいことは、親子の絆をとおして信頼感を育むこと。ありのままの自分が愛されている実感を持つことが、これからの長い人生においてこころの土台になります。

0歳児

人を信頼する心が育つ大切な時期です。

- たくさん抱っこしてあげましょう。しっかり抱っこしてもらうことで安心感を得ます。
- 赤ちゃんのしぐさや声、笑顔に目と目を合わせてやさしくこたえてあげましょう。
- 「おなかすいたね」「おっぱいのもうね」「おむつ替えてきもちよくなったね」「ワンワンがいたね～」「おふろにはいろうね」など気持ちやこれからすることなどをことばで伝えてあげると良いですね。

1歳児

大人のまねを喜び、感情表現も豊かになります。

- まねっこ大好きです。今後身につけて欲しい事は大人が見本をしめしましょう。片付けや挨拶など「～しなさい」より見て学ぶほうが効果的です。
- 「自分で!」となんでもしたがったり、ちょっとしたことで泣いたり笑ったり叫んだり。大人をいらいらさせることもありますが、できるだけ冷静になって「～がいやだったんだね」「自分で～したかったんだね」と気持ちをうけとめてあげましょう。何も言わずやさしく抱きしめるのが良い時もあります。

2歳児

イヤイヤ期ですが、それが成長過程でもあります。

- 「いや!」「だめ!」を連発し、大人の思うようにいかないことも多くなります。でも自己主張ができるということは成長の現れです。「今はこういう時期」と考え、家の中だけで過ごさず、自然に触れたり、身体を十分に動かして遊ぶなどして、子どもの心を安定させてあげましょう。
- 他の子どもへの関心もありますが、まだ子どもだけではうまく遊べません。「～ちゃんと一緒だね」「～どうぞってしょうか。」など大人の仲立ちが必要です。

3歳児

友だちと遊ぶ機会をつくりましょう。

- 友だちとの自己主張のぶつかり合いも多くなりますが、そのなかで人の気持ちに気づく等しいやりの心が育ちます。
- 「だめでしょ!」「止めなさい!」の否定語だけで終わらずに、できるだけ良いことに目を向け、「仲良く順番にできたね、うれしいよ」「欲しい気持ちはわかるけど、叩くのはいけないことだね」と、ちゃんと向き合って話してあげたいですね。



医療法人社団 DEN

みいクリニック

みのお 小児科 内科

2022年4月開院

当院は1階が病児保育室、2階がクリニックとなっています。

クリニックでは赤ちゃんを含む小児も、高齢者を含む大人も診察いたします。どうぞご家族でご利用ください。

みいクリニックみのおは、働くパパママを応援します



予防接種・子どもの健診

当院ではいつでも予防接種、健診(1か月健診、後期健診、入園前健診など)が可能です。お電話にてご予約ください。

親子で診察可能

子どもの風邪はご家族に移りやすいもの。子どもの体調不良の場合も、パパママの体調不良の場合も、ご家族と一緒に診察も可能です。

ネットで24h簡単予約

少しでも患者さまの病院での滞在時間が短くなるよう、ネット予約・事前のWeb問診を導入しています。

ネット予約は
コチラから



みいクリニック
みのお
HPはコチラ



診療時間

8:45~12:30

13:30~17:30

月 火 水 木 金

● ● ● ● ●

● ▲ ● ● ●

火曜日のみ 8:45~12:30・13:30~17:15

午前の受付は12:15・午後の受付は17:15(火は17:00)まで

休診日 | 土曜日・日曜日・祝日

お電話でのお問合せ
診療のご予約はコチラ

072-737-9275

乳児の頭の形に関する ご相談を行っています

生後3~6か月頃を目安に、斜頭や短頭(絶壁頭)など

赤ちゃんの
頭の形に関する
ご相談を
行っています。



詳しくはHPをご確認ください。



クリニック併設型病児保育室



病児保育室

ここちい

子どもが体調不良の時、医師・看護師がすぐ近くにいる環境の下、大切にお預かりします。

対象は
0歳6か月~小学3年生です



レスキュー保育

保育園・幼稚園でお子さまが体調不良になり、保護者の方がお迎えに行けない場合、ここちいの職員がお迎えに行き、クリニックで診察の上お預かりいたします。

お迎えは無料! 利用条件・詳細はお電話にてお問合せ、もしくはHPをご確認ください。

手ぶらセットあり

病児保育室に預けたいけど、預けるまでの準備が大変...というお声に応え、ご準備いただく持ち物を必要最小限に抑え、子どもをお預けいただける手ぶらセット(¥500)もございます。

ここちいならではの環境

2階のクリニックと連携し、医師・看護師・保育士がチームとなって保育をしています。毎日医師の回診があり、子どもの変化にすぐに対応できる環境です。

ご予約は
あすかこちゃんから



料金・利用条件など
詳細はここちいHPを
ご確認ください



開室時間

8:00~18:00

※8:00~8:30、17:30~18:00は前日18:00までの予約確定者に限る

閉室日 | 土曜日・日曜日・祝日・年末年始

お電話でのお問合せ
病児保育のご予約はコチラ

072-737-9343

※クリニックにつながる場合がありますがそのままご用件をお伝えください

MAP

